

派遣隊からの報告（速報）第4報

本日（30日）の屋外環境は、空間線量が200cpm 地表表面は1500cpmで昨日と比べて大きな変化は見られず、相変わらず岐阜に比べて高値を示しています。

本日の測定対象者数は884名で、今までの数を大きく上回り最も多い測定者数でした。その他として、車3台、ネコ一匹。これは、田村市近郊に避難している被災者約2400名のうち、800名が会津の避難会場へ移られることが決まり、その受け入れにあたって放射線測定が義務付けられ、汚染を会津に持ち込まないという強い姿勢が示されたためでした。早朝、会場に到着してまもなく現地スタッフの方からこの申し出を依頼されてびっくり！！ 早速、サーベイがスムーズに進めるよう電力支援チームの方々に改めて協力をお願いし、気持ちをひとつにして被災者の皆様を迎えることにしました。

測定の結果は、基準値（13,000～10万cpm）を超えが8名ありましたが、10万cpm以上の値を示した方はいませんでした。この8名にどこへ立ち入られたかを伺うとほとんどが自宅のある20キロ圏内に立ち入っておられ、立ち入らなくてはならない已む已まれぬご事情があるようでした。汚染部位は、靴裏が多く、次いで衣服の袖口などでした。多くはふき取り除染で基準値以下まで低下しましたが、除染し切れないものは廃棄をお願いしました。

慌ただしい測定が午後五時に終了しました。後片付けの後に、受付を担当された現地スタッフの方々に4日間のお礼を伝えて集合写真を撮影させていただき、帰路につきました。

現地スタッフの皆さま本当にありがとうございました。まだまだ被災者の方々への温かなご支援は続くと思いますが、どうかお身体をご自愛ください。

（大垣市民病院 安田鋭介）

